

DOCC Japan

アミノ酸系界面活性剤処方の ぬめり感を軽減して節水に寄与



大川 社長

パーソナルケアやホ

ームケア用途の天然系
ポリマーを開発・提供
するDOCC Japan
は2022年11月、
原料専門商社の方ネダ
と共同で、アミノ酸系
界面活性剤のベースを
変えずにポリマーを組
み合わせることでシャ
ンプーの質感を変える
技術特許を取得した。

同技術では、ジャガ
イモデンプン由来の水
溶性ポリマーを力チオ
ン化した多機能ポリマ
ーの「DOCCSTAR

CHCP Plus」

(以下、ドックスター
チ)に、天然由来多糖
類のセルロースを由来
とするコンディショニ
ングポリマーの「DO
CQUAT(ドックコ
ート)10」を組み合わ
せることで、アミノ酸
系界面活性剤処方の長
く続くぬめり感を軽減

する。

天然由来のアミノ酸
系界面活性剤は、優れ
た生分解性から環境に
やさしいため、ヘアケ
ア市場で需要が高まっ
ている。しかし、アミ
ノ酸系界面活性剤は肌
との親和性が高いため
に、シャンプーで洗い
流しても落ちにくく、
ベタつきや地肌のかゆ
みといった課題も多い。
「それを解決するの
が特許を取得した本技
術で、ポリマーの組み
合わせによりアミノ酸

系界面活性剤の配合量
はそのままに、さっぱ
りと洗い流すことが可
能で、これが結果とし
て節水につながる。生
活者の環境意識が高ま
り、水資源を大切にす
るシャンプーの訴求や
コミュニケーションが
今後広がれば、購買意
欲を喚起する重要なポ
イントになっていくた
ろう(大川彰子社長)

ドックスターチは、
メタンや一酸化窒素と
いった温室効果ガス全
般の排出量が実質ゼロ
(クライメートニュー
トラル)を達成したド
イツの工場に製造を委
託している。また、塩
化ヒドロキシプロピル

トリモニウムデンプン
を表示名称とする同原
料は、アメリカの非営
利環境団体(Envi
ronment Wo
rking Gro
up)より、化粧品成分
の安全性が高く、環境
への影響が少ない「E
WGグリーン等級」に
認定されている。

「ポリマーを工夫す
ることで、界面活性剤
など配合されている原
料の使用量を減らし、
それが結果として製
品全体におけるCO₂
排出量の削減に寄与す
る。今後も既存のポリ
マーが持つ新たな機能
を引き出すため研究を
進めていく(大川社長)